



14号 令和5年9月11日

<学校教育目標>

自ら伸びる ともに伸びる

## 校長だより(職員編)

呉市立市阿賀小学校  
安宗 誠

# 学校関係者評価委員の皆様から見た阿賀小の現状

### 中尾委員

- 参観日の様子：参観している保護者の人数が大変多い。関心が高い証拠。
- コロナ禍で長い間できなかった行事等が再開されている。再開に当たっては、引き続き今まで以上に丁寧な指導や関わり方が必要であろう。
- 「努力はたし算 協力はかけ算」・・・職員が「チーム阿賀」で取り組み続ける様子は見て取れたが、このことをふまえ、引き続き成果を上げてほしい。

### 山下委員

- どの授業も児童に対するこまかな配慮が見られ、児童ががんばりたいと思えるような授業が行われている。
- 学力のほうも、全国学力テストで毎年度全国平均より5ポイント以上の結果を上げる等、安定して高いレベル維持し続けている。
- 学年団が学年主任を中心に機能している。
- タブレットを立てて机に置いていると教師から死角になるため、使っていないときのタブレットの置き方に注意が必要。
- 児童の発表が教師に対して行うという意識が見られるときがある。児童同士で発表を聞き合い、高め合う意識を一層育てるとよい。
- いじめ、不登校の取組については、引き続き職員全員がアンテナを張って取り組むこと。教師独りでかかえこまないように。

### 河本委員

- 読書ボランティアとしても、本校に関わっているが、教室が大変静かで落ち着いている。
- タブレットで食育動画配信をしていることは、児童の食に対する意識を高めることに大いにつながっている。
- 児童のボランティア活動が校内だけでなく、豊栄公園のごみ拾いまで常時活動として行っていることは素晴らしい。阿賀中央公園までは遠いので無理だとは思いますが、我が子の放課後の行動については、保護者も気にしておく必要がある。
- 高校入試で自己表現が重視されるようになったこともあり、読み取って考えをまとめる力をこれからもどんどん付けていってほしい。